

当院における腹腔鏡下仙骨脛固定術とロボット支援下仙骨脛固定術導入初期の手術成績の比較に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「当院における腹腔鏡下仙骨脛固定術とロボット支援下仙骨脛固定術導入初期の手術成績の比較」を行うことになりました。

この研究の目的は、骨盤臓器脱の患者さんに対する腹腔鏡手術とロボット手術の治療成績結果を調べて、術式がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年8月1日から2021年1月31日までに腹腔鏡下仙骨脛固定術を行った方、2021年12月1日から2022年4月30日までにロボット支援下仙骨脛固定術を行った方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、BMI、手術時の記録）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年9月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)